



生き生き柁城

やる気・元気・根気

No. 503 令和8年2月20日



～柁城小ホームページ～
学校ブログから教育活動の様子をぜひご覧ください。

「かじの木作文」 ～子供たちに書く力を～

校長 有村 和章

「かじの木作文」、本校でこう呼ばれる朝の特別な時間。約30年前に「子供たちに書く力を」と始まった作文タイムです。今月のテーマは、「追い出したい心の鬼」、「冬の朝」、「〇〇にありがとう」などで基本的には自由に書かせるようにしています。15分間夢中で鉛筆を走らせる子供もいれば、真っ白な作文用紙とじっとにらめっこをしている子供もいます。一人一人が自分自身と静かに闘っているようで、私が大好きな柁城小の風景の一つです。



1年生も「かじの木作文」執筆中！

では、どうして書く力が必要なのか。「朝ドラ」で話題の小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)は学生に対して次のように話しています。

「諸君が困難に会い、どうしてよいかわからないときは、机に向かって何かを書きつけるのがよい。」

自分の心や頭の中を言語化することで、気持ちや考えが整理されるということでしょう。私も実感しています。このように子供たちなりに書くことの意味や楽しさを見いだしてくれたら嬉しいなと思います。

さて、この度、第62回南日本作文コンクールで本校が「最優秀賞」に選ばれました。過去10年間では2位相当の優秀賞を6回、3位相当の奨励賞を2回受賞していますが、最高賞を受賞したのは初めてのことです。校内での選考を経て各学年1点ずつ提出した6作品全てが入賞し、その内の2点は最高賞の「南日本新聞社賞」に選ばれました。(入賞者名は、裏面をご覧ください。)大快挙であり、本校で“学年代表”に選ばれた作品のレベルが高いということは全体的な底上げが図られている証と言えそうです。

「かじの木作文」という月に1、2回の小さな取組が30年の時を経て大輪の花を咲かせた、そんな気がします。卒業生や旧職員を含む関係の皆様へ心より御礼申し上げます。そして…これからも頑張ってください！

下の作文は、今年の夏の災害を通して農家という家業を見つめた最優秀作品です。ぜひお読みください。

「のうかはいへん」 (南日本新聞社賞)

一年 木さぬき けんと

ぼくのうちは、のうかです。

「ゴトゴト、バツシャーン。」

いきおいよく、つぎつぎにはこが出てきます。おにいちやんがきかきいに入れて、ぼくは、出てきたなえばこをかわかすためにならべていくかかりです。

「千五百まいあらうことが、このなつのお手つだいだよ。」

おかあさんからそういわれて、なえばこを見ると大きな山のようでした。本とうにやれるのかな。ぼくはぜったいむりだとおもいました。あつくて、あせがたらたらながれます。そのうち、みんなにもしゃべらなくなりました。でも、その日は、やつと五百まいくらいで、ぜんぶおわるまでに三日かんもかかりました。きつかったけど、すっきりした気もちになりました。

(中略)

「おきやくさんが、おいしいといってたべてくれるから、がんばれるんだよ。」とおとうさんがよくいいます。ことしもおいしいおこめがたくさんとれるといいなあとおもいました。

ところが、八月八日のあさのことでした。

「ゴオーゴオー。ザーザー。」

ともものすごい雨の音で目がさめました。いままで見ただこともないような雨がふっていました。おとうさんが、しんぱいそうに、

「田んぼは、大じょうぶかなあ。」

となんどもいいました。ようやく雨もやんだころ、みんなで田んぼを見にいきました。つよい雨のせいで、山がくずれ、川があふれ、たくさんの木やすながうちの田んぼにながれてきていました。どこが田んぼなのかわからないくらいでした。ぼくが、

「おこめはどこにいったの。」

ときくと、おとうさんが、

「すなや木の下にあつてつぶされてしまったよ。」

とこたえました。おとうさんはないていました。ぼくの目からもかっけになみだが出てきました。かなしくてくやしいなみだです。ぼくたちは、さっそくすなや木やごみを田んぼのそとに出すさきようにとりかかりました。なえばこあらいのなんばいもなんばいもたいへんでした。そとはもうすっかりくらくらなくなっていました。やつとたんぼがもとどおりになったとき、おとうさんはいいました。

「のうぎょうは、しぜんにはかてないからね。がんばらんとね。」

のうかはいへんだけ、よるこびもたくさんあります。ぼくももっとお手つだいをがんばろうと心にきめました。ぼくのお手つだいはまだまだつづきます。



PTA親睦委員会主催によるウォークラリーがありました。当日は、兄妹も含め、子供34名、大人27名と多くの参加があり、お互いに励まし合いながら金山橋を目指して歩きました。復路では龍門滝展望所にも立ち寄り、往復約9kmの道のりを全員が完歩することができました。計画及び運営に御協力いただきました親睦委員会の皆様、ありがとうございました。



- 第62回南日本作文コンクール
南日本新聞社賞【最高賞】
1年 木佐貫 絢斗さん
5年 大久保 穂香さん
二席 4年 切通 基生さん
入選 2年 大脇 一仁さん
3年 岡部 美月さん
6年 馬場 桃愛さん
学校賞 最優秀賞(柁城小)【最高賞】
- 第16回始良地区新聞よむのびコンクール
一席 5年 大久保 穂香さん
- 令和7年度地域が育む「あいらっ子」
あいさつ運動標語展
入選 1年 山口 嬉子さん
- 防火ポスターコンクール
金賞 6年 神園 みもりさん
銀賞 5年 小森 乙乃さん
- 第26回三汀賞俳句展(郡山市)
入選 1年 藤田 航成さん

1/25(日) 研究助成をいただきました!

この度、本校の教育研究が高く評価され、東京海上日動教育振興基金より研究助成金(15万円)をいただきました。本校では、「自立した学び手」を育てるために児童自身が学び方などについて「決める→やってみる→振り返る」ことを大切に学習指導に取り組んでいます。11月号で紹介した「柁城マイズテップ学習」や「家庭学習マイゴールチャレンジ」もその一環です。いただいた助成金を大切に使い、更なる取組の充実に努めてまいります。研究の取組については、来年度2月に公開予定です。



2/2(月) 赤鬼さんがやってきた!

今年も正門に赤鬼さんがやってきました。SSVC+コーディネーターの岩重 俊一さん(通称:がんちゃん)が鬼のお面をかぶり、正門で子供たちを出迎えてくださいました。鬼を見つけた子供たちは一目散に駆け寄り、ハイタッチをしたり元気よく挨拶したりしていました。岩重さん、ありがとうございます。



重要 転出情報の確実な把握について(お願い)

年度末にかけて、転勤、転居等による児童の転出がある場合は、分かり次第速やかに学校まで連絡をお願いします。特に、現1年生、現3年生、現4年生については、数名の転出入で学級数に影響があります。御理解と御協力をお願いいたします。(連絡先:教頭 0995-63-2552)

3月の行事

★…PTA, 地域等関係行事

期日	行事	期日	行事
4日(水)	委員会活動(反省) 幼稚園との交流(午前 4年)	17日(火)	卒業式予行練習(2・3校時) ★学校施設開放説明会(18:00~ 校区公)
6日(金)	卒業生を送る会(1校時 体育館) お別れ遠足(全学年 陶夢ランド)	23日(月)	卒業式準備(5・6校時 5年) ★体育館開放中止(3/23~4/9)
8日(日)	金管バンドお別れ演奏会	24日(火)	卒業式(9:15~受付)
10日(火)	地域委員長会(15:50~ 校区公民館)	25日(水)	修了式・離任式(1校時)
16日(月)	給食着点検週間(エプロン・三角巾準備)	26日(木)	★PTA送別会